

令和7年度 第一学年 社会科年間指導計画

分野	単元	章	時数	主な学習活動 他教科との関連
地理	第一部 世界と日本の地域構成	第一章 世界の姿	6	・私たちの住む地球を眺めて ・緯度と経度 ・地球儀と世界地図の違い
		第二章 日本の姿	6	・世界のなかでの日本の位置 ・日本の領域とその特徴
		第一章・第二章のまとめ	1	学習内容の整理
	第二部 世界のさまざまな地域	第一章 人々の生活と環境	9	・世界のさまざまな生活と環境 ・乾燥した地域の暮らし～アラビア半島での生活～ ・寒い地域の暮らし～シベリアでの生活～ ・人々の生活と宗教の関わり
			1	第一章のまとめ
		第二章 世界の諸地域 アジア州	8	・アジア州の自然環境 ・経済成長を急速に遂げた中国 ・経済発展を目指す東南アジア ・資源が豊富な中央アジア・西アジア
			1	アジア州のまとめ
			5	・ヨーロッパ州の自然環境 ・EU の成り立ちと人々の生活の変化 ・EU 統合による課題への取組
		第二章 世界の諸地域 アフリカ州	3	・アフリカ州の自然環境 ・アフリカが抱える課題とその取り組み
			1	アフリカ州のまとめ
		第二章 世界の諸地域 北アメリカ州	4	・北アメリカ州の自然環境 ・大規模な農業と多様な農産物 ・アメリカ合衆国に見る生産と消費の問題
			1	北アメリカ州のまとめ
			3	・南アメリカの自然環境 ・大規模化する農業と成長する工業
	第三部 地域調査のしかた	第一章 地域調査のしかた	2	・オセアニア州の自然環境 ・他地域と結びついて発展する産業
			1	第二章 世界の諸地域のまとめ
			1	各所地域の多样性と人権問題について
歴史	第一章 歴史へのとびら	1節 歴史をとらえる見方・考え方	5	・歴史の流れ
		2節 身近な地域の歴史		・時期や年代の表し方 ・身近な地域の歴史
	第二章 古代までの日本	1節 世界の古代文明と宗教のおこり	6	・人類の出現と進化 ・中国文明の発展 ・宗教のおこりと三大宗教
		2節 日本の列島の誕生と大陸との交流	4	・旧石器時代と縄文時代の暮らし ・大王の時代
	第三章 中世の日本	3節 古代国家の歩みと東アジア世界	10	・聖德太子の政治改革 ・律令国家の成立と平安京 ・天平文化 ・摂關政治の時代
		1節 武士の政権と成立	7	・武士の成長 ・鎌倉幕府の成立と執権政台 ・鎌倉幕府の文化と宗教
	第四章 近世の日本	2節 ヨーロッパとの出会いと全国統一	11	・中世のユーラシア大陸 ・モンゴルの襲来 ・東アジアとの交流 ・応仁の乱と戦国大名
		ヨーロッパ世界の変化	5	・ヨーロッパ世界の拡大 ・ヨーロッパとの出会い

令和7年度 第二学年 社会科年間指導計画

分野	単元	章	時数	主な学習活動 他教科との関連
地理	第三篇 日本のさまざま な地域	第一章 地域調査の手法	2	・私たちの世田谷 ・地形図の読み取り
		第四章 地域の在り方	1	・持続可能な地域づくりを考えよう
		第一章のまとめ	1	・学習内容の整理
		第二章 日本の地域的特色と地域区分	11	・地形から見た日本の特色 ・自然災害と防災・減災への取組 ・資源・エネルギーから見た日本の特色 ・交通・通信から見た日本の特色 ・気候から見た日本の特色 ・人口から見た日本の特色 ・産業から見た日本の特色 ・日本の地域区分しよう
		第二章のまとめ	1	日本のがれきの特色を伝えよう
		第三章 日本の諸地域 沖縄・九州地方	6	・九州地方を眺めて ・自然の制約の克服と利用 ・自然環境に適応する人々の工夫 ・持続可能な社会をつくる
		第三章 日本の諸地域 中国・四国地方	5	・中国・四国地方を眺めて ・交通網が支える産業とその変化 ・交通網の整備と人や物の移動の変化 ・活用される交通・通信網
		第三章 日本の諸地域 近畿地方	5	・近畿地方をなめて ・ニュータウンの建設と都市の開発 ・大都市圏の形成と都市の産業 ・変化する農村の暮らし
		第三章 日本の諸地域 中部地方	5	・中部地方をなめて ・特色のある中央高地の産業 ・特色ある北陸の産業
		第三章 日本の諸地域 関東地方	5	・関東地方をなめて ・東京を生活圏とする人々の暮らしと交通 ・世界と結びつく東京 ・関東地方の多様な産業
		第三章 日本の諸地域 東北地方	3	・東北地方をなめて ・伝統工芸品の生産・販売とその変化 ・祭りや年中行事の伝統とその変化 ・過去の伝承と未来に向かう社会づくり
		第三章 日本の諸地域 北海道	4	・北海道地方をなめて ・自然の制約や社会の変化をのりこえる ・自然の制約に適応する人々の工夫 ・自然の特色を生かした産業
		第三章 まとめ	4	・各地方の特色をまとめよう
歴史	第四章 近世の日本	1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	6	・中世ヨーロッパとイスラム世界 ・ヨーロッパ世界の拡大 ・織田信長・豊臣秀吉による統一事業 ・兵農分離と秀吉の対外政策 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパ人の出会い ・兵農分離と秀吉の対外政策
		2節 江戸幕府の成立と対外政策	7	・江戸幕府の成立と支配の仕組み ・貿易の信仰から鎖国へ ・琉球王国やアイヌ民族との関係 ・さまざまな身分と暮らし ・鎖国下の対外関係
		3節 産業の発達と幕府政治の動き	9	・農業や諸産業の発展 ・幕府政治の安定と元禄文化 ・田沼意次の政治と寛政の改革 ・外国船の出現と天保の改革 ・都市の繁栄と交通路の整備 ・享保の改革と社会の変化 ・新しい学問と化政文化 ・近世の日本のまとめ
	第五章 開国と近代日本の歩み	1節 欧米における近代化の進展	7	・イギリスとアメリカの革命 ・ヨーロッパにおける国民意識の高まり ・産業革命と資本主義 ・フランス革命 ・ロシアの拡大とアメリカの発展
		2節 欧米の進出と日本の開国	7	・欧米のアジア侵略 ・開国後の貿易と経済 ・開国と不平等条約 ・江戸幕府の滅亡
		3節 明治維新	11	・新政府の成立 ・富国強兵と文明開化 ・国境と領土の確定 ・自由民権運動の高まり ・明治維新の三大改革 ・近代的な国際関係 ・領土をめぐる問題の背景、流用の歴史的経緯 ・立憲制国家の成立
		4節 日清・日露戦争と近代産業	5	・欧米列強の侵略と条約改正 ・韓国と中国 ・日清・日露戦争 ・日清・日露戦争

令和7年度 第三学年 社会科年間指導計画

分野	単元	章	時数	主な学習活動 他教科との関連		
公民	第五章 開国と近代日本の歩み	第3節 明治維新	1 1	・新政府の成立 ・近代的な国際関係 ・自由民権運動の高まり	・明治維新の三大改革 ・国境と領土の確定 ・立憲制国家の成立	・富国強兵と文明開化 ・領土をめぐる問題の背景、流用の歴史的な経緯
		第4節 日清・日露戦争と近代産業	8	・欧米列強の侵略と条約改正 ・産業革命の進展	・日清・日露戦争 ・近代文化の形成	・韓国と中国
	第六章 二度の世界大戦と日本	第1節 第一次世界大戦と日本	5	・第一次世界大戦 ・アジアの民族運動	・ロシア革命	・国際協調の高まり
		第2節 大正デモクラシーと政党内閣の時代	4	・大正デモクラシーと政党内閣の成立 ・新しい文化と生活		・広がる社会運動と男子普通選挙の実現
		第3節 世界恐慌と日本の中国侵略	6	・世界恐慌とブロック経済 ・満州事変と軍部の台頭	・欧米の情勢とファシズム ・日中戦争と戦時体制	・昭和恐慌と政党内閣の危機
		第4節 第二次世界大戦と日本	7	・第二次世界大戦の始まり ・戦争の終結	・太平洋戦争の開始	・戦時下の人々
	第七章 現代の日本と私たち	第1節 戦後の日本の出発	3	・占領下の日本	・民主化と日本国憲法	
		第2節 冷戦と日本の発展	5	・冷戦の開始と植民地の解放 ・日本の高度経済成長	・独立の回復と55年体制 ・マスメディアと現代の文化	・緊張緩和と日本外交
		第3節 新たな時代の日本と世界	6	・冷戦後の国際社会	・冷戦後の日本	・持続可能な社会に向けて
	第一章 現代社会と私たち	1節 現代社会の特色と私たち	4	・持続可能な社会に向けて ・情報化	・グローバル化	・少子高齢化
		2節 私たちの生活と文化	4	・私たちの生活と文化の役割 ・多文化共生を目指して		・伝統文化と新たな文化の創造
		3節 現代社会の見方や考え方	5	・社会集団の中で生きる私たち ・効率と公正	・決まりを作る目的と方法 ・決まりの見直し	・第1章のまとめ
	第二章 個人の尊重と日本国憲法	1節 人権と日本国憲法	5	・人権の歴史と憲法 ・平和主義の意義と日本の役割	・日本国憲法とは ・基本的人権と個人の役割	・国民主権と私たちの責任
		2節 人権と共生社会	5	・平等権 ・人権を確実に保証するための権利	・自由権	・社会権 ・「公共の福祉」と国民の義務
		3節 これからの人権保障	5	・新しい人権	・グローバル社会と人権	・第2章のまとめ
	第三章 現代の民主政治と社会	1節 現代の民主政治	8	・政治と民主主義 ・マスメディアと世論	・選挙の意義と仕組み ・選挙の課題と私たちの政治	・政党の役割
		2節 国の政治の仕組み	8	・国会の地位と仕組み ・裁判所の仕組みと働き	・国会の仕事 ・三権の抑制と均衡	・行政と内閣、
		3節 地方自治と私たち	8	・地方自治の考え方と役割 ・住民参加の拡大と私たち	・地方自治の仕組み ・第3章のまとめ	・地方公共団体の課題
	第四章 私たちの暮らしと経済	1節 消費生活と市場経済	5	・私たちの消費生活 ・契約のあれこれ	・契約と消費生活 ・消費生活を支える流通	・消費者の権利を守るために
		2節 生産と労働	4	・生産と企業 ・労働の意義と労働者の権利	・企業の種類 ・労働環境の変化と課題	・株式会社の仕組み
		3節 市場経済の仕組みと金融	5	・市場経済と価格の決まり方 ・私たちの生活と金融規制	・価格の動き ・景気と金融政策	・貨幣の役割と金融 ・グローバル経済と金融
		4節 財政と国民の福祉	5	・私たちの生活と財政 ・少子高齢化と財政	・財政の健全化と課題	・社会保障の仕組み
		5節 これから経済と社会	5	・公害の防止と循環型社会の形成へ	・経済の持続可能性と真の豊かさ	・第4章のまとめ
	第五章 地域社会と私たち	1節 國際社会の仕組み	4	・国際社会における国家 ・国際的な経済制度	・領土をめぐる問題の現状 ・新興国の台頭と経済格差	・国際連合の仕組みと役割
		2節 さまざまな国際問題	3	・貧困問題 ・気候変動と資源・エネルギー問題	・難民問題 ・平和な世界に向けて	・地球環境問題
		3節 これから地球社会と日本	2	・世界と協力する日本	・よりよい地球社会を目指して	